

令和二年 第八回俳人協会石川県支部俳句大会（三月十五日）

大会賞

冬靄の解けたる底に村一つ 金沢 豊田高子

優秀賞

麦の芽の白山へ列揃ひけり 白山 森悦子

黒板に牛返す日や春隣 野々市 山田深雪

努力賞

杉丸太百本ねかせ山眠る 金沢 三谷道子

雪しまく木偶人形のすすり泣き 金沢 清水須寿代

芽柳やつまづきがちに水の声 金沢 蔵堯子

寒夕焼ことば短く別れけり 金沢 高岡幸子

終点もまた無人駅余花の舞ふ 金沢 中村とき子

年新た父の手のこる謡本 金沢 中野了一

福耳の太夫に在す加賀万歳 金沢 上山トキイ

佐怒賀直美特選

芽柳やつまづきがちに水の声 金沢 蔵堯子

麦の芽の白山へ列揃ひけり 白山 森悦子

黒板に牛返す日や春隣 野々市 山田深雪

泉 紫像特選

白山にかかる彩雲春近し

小松

植木静恵

千田一路特選

冬靄の解けたる底に村ひとつ

金沢

豊田高子

田村愛子特選

のり島へ急ぐ媪の頬被

金沢

北川禮子

高沢木偶特選

まつすぐに生きたつもりや野水仙

金沢

林 和子

中西石松特選

年嵩のもう叱られず初稽古

金沢

北島智子

松本美簾特選

黒板に牛返す日や春隣

野々市

山田深雪

中川雅雪特選

耳遠き夫に大きく御慶かな

金沢

上山トキイ

北市かをる特選

福耳の太夫に在す加賀万歳

金沢

上山トキイ

宮田 勝特選

冬靄の解けたる底に村一つ

金沢

豊田高子